



# 職業志望に現れた

## 町村少年の相違點

### 町の少年等は商店を望み

### 農村側は俸給生活を憧る

## 面白い対象

ひ又は猶豫、分割辨濟をなす等の條項に依つて處理さ

平職業紹介所では附近聯絡各小學校當局と協力して本年卒業児童の就職豫約に大童へとなつて奔走中であるが児童の就職希望は一般に平、湯本、植田等の商業地の

兒童は、小資本で獨立の出来る雜貨店、乾物店、洋品店、薪炭、農具商等を望んでをり、これに反して農村兒童は會社、銀行、諸官署

等の給仕を望み將來サラリーマンとなる事を志願してゐるその多く町の兒童達が華やかさを追ふ夢を漸く排撃して質實なる

商人として自力更生に目覺めてゐるに對し農村兒童が未だサラリーマンに小さな憧憬を抱いてゐるなど町と農村の兒童の思想の相異が面白い對照をみせてゐる

平署では最近管内四町十五ヶ村の人口戸數を調査したが夫れに依ると人口十四萬五千九百七十七人、戸數二萬八千四百戸で前年に比較し人口が三千四百九十九人戸數四百三戸を増加して居ると、尙管内の各種學校數は五十二校、生徒數は男子一萬五千八百三十一人、女子一萬九千六百一人、合計三萬一千四百三十二人である、各町村別人口戸數は左の如くである

## 内郷が最も大世帯

### 平署管内の人口と戸數

永戸	四七五	六四四
豊間	三三〇	六八八
神谷	三二二	六五五
飯野	三三〇	六〇〇
平窪	三二二	五九二
夏井	二七五	四六五
高久	二七〇	四四四
玉川	二五五	四六一
鹿島	一九九	三四四

## 調停裁判が実績を擧ぐ

### 一年間の總勘定

平區才判所では此程金錢債務臨時調停法實施一ヶ年間の成績を調査したが

總件數は昨年二月の三十件を最高とし合計二百十件で他の裁判所に比し比較的件數が多い之は

農山漁村を管轄する關係で農山漁村民の經濟更正を本旨とする此制度に

其實効を認められて居る事が解る、申立金額は一件當り二百五十圓以下のものが最も多い、次に事件別は貸金、賣掛代金等が大部分を占め申立の七割強は調停が成立し元利金の一部を免除して殘額を支拂

れ今では寧ろ債權者側からの申請が増加する傾向を示して居る

## 經濟更生協議

神谷村では来る廿七日午前九時半より村役場で經濟更生委員會を開くと

渡邊村では昨年度より經濟更生村に編入されたので来る廿九日午前十時より村役場に於いて更生委員會を開き本年度事業を協議する

## 劍道の階級試験

### 平署に講習會開く

平警察署では來月廿六日より三月一日迄同署道場に於いて劍道講習會並に階級試験を行ふ事になつたが講師は警察部の小川文章氏で一般の來會を歓迎すると

## 常設館たより

平館 日活現代劇 夏川 靜江 小杉勇主演バート トーキョー 佐藤美子出演 『花の東京』日活時代劇 河部五郎 大河内傳次郎

平河 人事 回出 生 △紺屋町一四 吉田淳氏長 男正隆

## 東京工場

### 聯盟の自轉車

指定販賣所

フタバ商會 平新川町・橋際

## 高久病院

院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

## 藤沼醫院

平町 紺屋 電話 七〇五番

## 美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

# 宿料に困じた

## 東京娘を誘惑

### 礦區圖面を種に大風呂敷

### 赤井の理髪職が誘拐罪で

赤井村大字赤井理髪業伊藤秀雄(四)は舊臘九日茨城縣大津町料理店村山清吉方に至り東京市城東區龜戸町木村美榮子(一)を

酌婦に 住込ませ前借三十圓を捲き上げ更に好間村カフエーみどり事永山やそ方へ女給に住替へさせ様とした處を松原署員に檢舉され取調べの上誘拐罪として二十四日一件書類を送局された

同人は 十年前より肩書地にて理髪業を営んでゐたが不況の荒波にもまれて六百圓の負債を生じ返済に窮し秋田、岩手兩縣下に跨る石炭試掘礦區の書類を所

持してゐる處から右礦區を賣却して金に換へんと

平町に 至り旅人宿伊達屋事野村さん方に止宿中前記美榮子が同家に滞在宿料の支拂ひに困つてゐるに

乗じ美榮子の宿料を支拂ひ六丁目熱心湯に連れ出して暴行を加へ該礦區圖面を示して三千圓の價値あると大風呂敷を廣げ妻にすると欺き、該礦區賣却に要する費用八十圓を得るため

數日間 だけ女中奉公して前借金を融通して呉れと甘言を弄して前記大津町村山方に美榮子を住込ませ更に同女を連れ出し轉賣せんとしたものである

(月)週番の看護、朝會、週訓練努力事項の反省、晝食會(火)課外運動(水)職員會(木)週番の看護朝會、週訓練努力事項の反省、晝食會(金)課外運動(土)教授實際進度記入

△毎月行事 (第一月)服装検査(同火)

### 統計に現れた

### 青少年の犯罪は

### 遊んで居る者に多い

### 平檢事局の調査

平區才判所檢事局に於ける昨年度の青少年に關する犯罪件数は總計七十八件で最も多いのは 窃盜の五十五件次は傷害七件詐欺五件横領三件、失火二件その他は賍物收受、恐喝、家宅侵入、列車妨害、暴力行為各一件であるが之を

年齢別に 見ると十四才五件、十五才六件、十六才十三件、十七才十六件、十八才二十四件、十九才十一件、二十才一件、二十一才二件、十六才から十八才迄の青年期に犯罪者が多い

これ等の原因を見ると親の無理解家庭愛の缺乏家庭教育の不徹底、環境の不道、生活苦、病的等また總じて奉公等にも行かずブラ／＼遊んでゐる者に犯罪を冒す者が多いと

の青年教育上重大な注目を要すること

石城郡内郷村字白水磐炭綴坑世話係手湧井直一(三)君は附近の小學生を集めて級少年團を組織し毎朝登校前の團員を引率して同村山神社境内の清掃に當り三年間一日も欠かしたことなくその他部落道路の改修等公共事業には率先して参加し部落民からは非常に感謝されてゐる

大浦組頭更迭 大浦消防組頭愛川重治氏は此程家事の都合で退職し副組頭

岡君除隊歸郷 輜重兵第二大隊に入隊中であつた平三丁目高倉精一方岡時保君は本日平着午後三時十七分で除隊歸郷した

平職業紹介所報告 回人を求める方

△農夫 三十迄 月十圓外

△女事務員 廿三前後 高

△女卒 月廿圓前後 勤先

△小使 五十一才 尋卒 給料面談

△機械職工 二十四才 高卒 給料面談

△土木工 二十六才 尋一修 給料面談

△女事務員 二十三才 高卒 給料面談

明日の天気 今夜も明日も北西の風晴曇半す

今晚の部 後六、二五 英語講座(四) 若杉三郎 後七、三〇 講演 出淵勝次 後八、〇〇 初天神實況 天満宮より中継 後八、二〇 舞台劇「亂れ笠」中村時藤其仙

五百圓獻金 子無しの責に 小名濱町字下町永山普次(七)は自分が子無しの爲軍人を出す事が出来ぬのを遺憾として此程貯蓄中より五百圓を献金し陸軍恤兵部へ送付した

三年間も 山神社清掃 綴、模範少年團 石城郡内郷村字白水磐炭綴坑世話係手湧井直一(三)君は附近の小學生を集めて級少年團を組織し毎朝登校前の團員を引率して同村山神社境内の清掃に當り三年間一日も欠かしたことなくその他部落道路の改修等公共事業には率先して参加し部落民からは非常に感謝されてゐる

校外協議延期 既報 明日開催する筈であつた平町各公立學校生徒校外取締協議會は都合に依り来る二月二日に延期された

平職業紹介所報告 回人を求める方 △農夫 三十迄 月十圓外 △女事務員 廿三前後 高 △女卒 月廿圓前後 勤先

看護婦急派の求めに應じます 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

後五、〇〇 東北民俗行事講座 後五、三五 受驗講座「和文英」譯岡田實麿 後六、〇〇 子供の時間 後六、二五 ことばの講座(第四講)「聲を使ふ發音と息を使ふ」發音神保格 後七、三〇 講演の夕一 吟術寶救援軍の回顧 歩兵第三旅團團長陸軍少將長谷部照倍 後九、〇〇 連續講談「快男子」(第二席)大島伯鶴

早川祐治氏が組頭に就任副組頭には片寄市重氏決定 玉川組機械庫 玉川消防組第三部の同村字野田に設置されてある機械庫は破損甚しいので同消防小頭永山常太郎氏の發起で改築を行ふ事となり去る十日より工費百三十圓で起工部員五十名が出動して勞役に従事し去る廿二日竣功近く落成式を舉行すると

玉川組機械庫 玉川消防組第三部の同村字野田に設置されてある機械庫は破損甚しいので同消防小頭永山常太郎氏の發起で改築を行ふ事となり去る十日より工費百三十圓で起工部員五十名が出動して勞役に従事し去る廿二日竣功近く落成式を舉行すると

岡君除隊歸郷 輜重兵第二大隊に入隊中であつた平三丁目高倉精一方岡時保君は本日平着午後三時十七分で除隊歸郷した

平職業紹介所報告 回人を求める方 △農夫 三十迄 月十圓外 △女事務員 廿三前後 高 △女卒 月廿圓前後 勤先

看護婦急派の求めに應じます 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

看護婦急派の求めに應じます 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

# 生徒指導に

## 行事を決定

### 平商の計畫

平商業學校では生徒の指導上今後は毎日毎週毎月に分けて左の如き行事を決定教育の萬全を期する由

△毎日行事 (授業前)登校出勤簿捺印 週番のニュース揭示及び

巡視、實習販賣、自習監督(授業中)事務處理(休憩時)週番の看護(晝休)ラヂオ合同体操(放課後)掃除指導、課外教授、教案作製

△毎週行事

△毎週行事

# 銘劍秘刃録

【禁無斷轉載上演映畫】

第百四十一回 德川家に崇る村正  
寶井馬琴 演  
山本英春 畫

父娘は無事に

治兵衛は一生懸命

治「人殺し人殺しッ」

と嗚鳴りながら逃廻る。立木を廻り、袖下を潜り、又は石を捨てて投げ附けなどする、如何に腕の出来る者でも、向つて来る敵は斬りよしが、逃廻る對手は却て斬難いもので、五左衛門も刀を振被つて追詰めて、してゐるが一太刀も浴せる事が出来ない

治「人殺し——人殺しッ」

其の聲が響いて響いて物凄く聞える、五左衛門もジリジリとして、烈しく追掛け、斬り捲つてゆくと、治兵衛は立木の間を彼方へ此方へと逃げるので枝が邪魔になつて流石の五左衛門も充分に腕が揮へない、折柄此方を指してバラ／＼駈けて来る者があるから、五左衛門がヒョイと見ると獵師と見えて皆な鐵砲を擔いでゐる之はいけな、二人や三人来た處で恐い事はないが、飛道具で狙はれては敵はんと思つたから、残念ながら治兵衛を捨て其の儘ドン／＼逃出した

治「ヤイ待て武士弱野郎」

と、口も達者でセイ／＼息をはづませながら悪口を言つてゐる、處へ近寄つた三人の獵師  
△「どうしなすつた、悪い野郎は逃げたからモウ大丈夫だ、鐵砲で撃ちまうべえかと思つたが後で又何だ



ひました」  
○「ナニ娘さんが殺された」と、アレマア夫ア大變な事だ、死骸はどこにあるだ治「ナニ、彼處の處から、谷底へ突き落されたのでございませう」  
○「夫アえれえこんだ、あの谷底へ落ちた日にはとても助かんねえ、可哀想にの」治「せめて娘の死骸を厚く葬つてやりたいと存じますかお金は幾らでも出しますから、皆さんで一ツ死骸を谷から上げて下さいませ、お願いでございます」  
甲「夫アマあやられねえ事もねえだが何にしる飛んだ

かんだと引合になつたりして面倒臭いから逃がしちまつたア、怪俄もねえやうだ宜かつた」  
治「有難うございませう、貴所方の御蔭様で私は怪俄も致さず助かりましたが、娘が野郎の爲めに殺されて了

かつたか定めし手か足でも折つて生れも附かぬ不具にでもなつた事だらうが、命さいあれば何とでもしてやるかどうか皆さんお願ひでございませう、お助けなすつて下さいませ」  
○「成程之ア不思議だドレ／＼何處にゐるのか、存外之ア近さうだ……オウ彼處だ／＼、あの谷へ突出てゐる松の大木の幹に引つ掛つて居なさる、何てえマア運の宜い女子衆だらう、宜うがす／＼何とかして今助けあげるので、決して心配なさんなよ」  
と、それから三人で何か相談してゐたと思ふと

△「さうだの、こんな時には小さく生れた者が割が宜い」  
甲「詰らねえ事云つてねえで、サア仕事に掛るべえ」  
治兵衛は何をするのかと思つて見てゐると、三尺や六尺を解いて繋ぎ合せ、源右衛門といふ男の腰に結びつけて其の先は二人の男が上で木の幹へ捉まりながら確かり押へてゐる、源右衛門は藤葛や木の枝に捉まりながら段々谷を下つて行つたが遂に娘の傍まで参り源「サア娘さん助けて上げ

るから安心おしはる「有難うございませう、夫から私の父はどう致しましたか御存じでございませんか」  
源「ア、貴所の親父さんも無事だから安心おし」  
はる「夫では父も無事でございませうか」  
源「サア宜いか動いちやアいけないよ」  
娘を小脇に抱へ上へ合圖をする

○「ソレ、ドツコイシヨ、モウ一ツドツコ、シヨ」と漸く二人を引上げる、治兵衛親子は手を取合つて喜び三人の獵師に厚く禮を述べ一兩宛の禮をしたから、獵師達も大きに喜んで「マア行先氣を注げてお出でなさい」と別れて行く、親子は之も身延山の御利益と御山の方々伏拝み甲府をさして参る、扱て五左衛門は如何致したか其の後行方が知れない。

### 紙信賴報電

送通過番號

種類	局信著	注意
市内	ウ	一 濁點又は半濁點ある文字の下は一字あけること
ナ	ナ	二 受信人に知らずべき發信人の居所氏名は本文の終に書くこと
数字	数字	
五十五字	五十五字	
二丁目	二丁目	
番	番	
一	一	
付	付	
午前七時〇分	午前七時〇分	

郵便	切手	手紙
一圓	一圓	一圓
二圓	二圓	二圓
三圓	三圓	三圓
四圓	四圓	四圓
五圓	五圓	五圓
六圓	六圓	六圓
七圓	七圓	七圓
八圓	八圓	八圓
九圓	九圓	九圓
十圓	十圓	十圓

信者校照  
クノ  
ロラ  
者信送  
トノ  
ウン  
サンナ

午前七時〇二分

文

信人 居所 平二丁目警察署通り 魚清食堂部 電話六三三番

### 阿康藥舖

咽喉鼻專門

應需院 山内醫院

醫學士 山内亨吉 電話六九一

平町古鍛冶町一〇 縣社ノ下 電話四四番

米國製劑皮膚病良藥  
**レメドール**  
ヒビ、シモヤケ、バタケヤケド、キリキズ、タムシ

子宮あたゝめぐすり  
**宮温湯**  
子宮病、根切藥、下腹や腰の痛みをなほす事妙なり

丹波博士創製セキドメ  
**たんばあめ**  
うまくてセキがヨクトマル

**靈藥ムテキ**  
エビハレ、ヤケド、キリキズ、淋病、梅毒、乳ハレ、すべて化膿したものを切らずに癒る